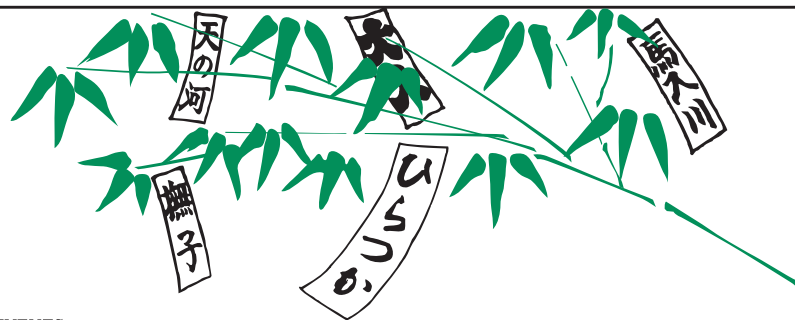




2010～2011年度 国際ロータリーテーマ
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
地域を育み、大陸をつなぐ



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 桐本美智子 ●副会長 小飯塚立雄 ●幹事 柏手 茂 ●会報委員長 工藤光和 (2010～2011年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2750回例会

2010年8月19日

グランドホテル神奈中

週報第2750号

本日の卓話者ご紹介

神奈川大学経営学部教授
大学院経営学研究科教授

松岡紀雄様



卓話

松下幸之助から学んで、いま思う日本の行く末

神奈川大学経営学部教授 松岡紀雄

松下幸之助さんと座敷で向かい合ったのは、松下電器に入社して2年目のことだった。松下さんが71歳、私が25歳である。「キミは松下電器に入ったんやから、2年間だけ修業だと思ってPHP研究所で頑張ってくれ。その上で、キミがここで仕事を続けたい、ボクもそうして欲しいということになったら、引き続いてPHPの仕事をしてほしい」と言われた。

「ボクは人の名前を覚えるのが苦手やねん」という松下さんだったが、毎週開かれる勉強会で意外な発言を繰り返したせいか、3ヵ月後にはしっかり私の名前を覚えられた。その結果、やがて英文PHPの創刊に備えてアメリカPHP研究所を開設するとなった時にも、私が指名された。「英会話の苦手な私がなぜ？」という問いに、「アメリカ人に英語を教えに行けと言うてわけやない。キミの目でアメリカを見てきて欲しいんや」との答えである。

3年後に東京に戻って来るや、国際PHP研究所の代表取締役と英文PHPの編集長を命じられた。「ボクが電気のことですべてわかってるわけやない。それでも松下電器の社長をしてきたんや。キミもわからんことがあったら、わかっている人に支えてもらったらいい。まさに融通無碍である。

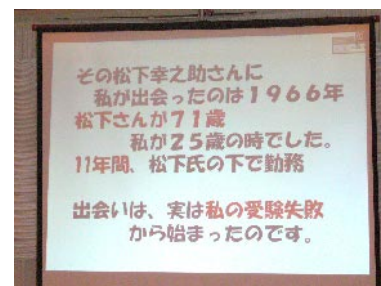
松下さんの下で11年、松下さんから受けた教えをただひとつと言われたら、「自分の寿命を超えた将来のこと、日本のことや人類全体のことを考え、真摯に考え、行動すること」を挙げることができよう。「ボクが生きているのもあと5年やと思う」と、ふと松下さんが漏らされたこともあった。それでも、常に日本の現状を憂い、何十年、何百年先の日本や人類の将来に思いを馳せ、自らの考えを訴えていた。

日本や世界を見渡したとき、現在のわれわれの前途にはあまりにも多くの難題が、まるで日本丸や地球号の行く手を阻む氷山のように立ちはだかっている。地球温暖化に代表される環境問題はもちろんのこと、世界規模の人口爆発や、食料や水、資源の枯渇、テロや紛争の勃発、核兵器の使用などの危険である。日本について言えば、あまりにも急激な少子・高齢化の進展、人口減少、国や自治体の負債の激増や財政破綻、年金や医療制度への不安、貧富の格差の拡大、国際的な経済競争力の低下などである。子どもたちの学力低下や、心の病、自殺者の激増、家族や地域社会の崩壊も憂慮される。大規模地震災害による甚大な被害も、時間の問題と考えざるを得ない。

最大の問題は、こうした難題をしっかり受けとめて、国を挙げて取り組もうとする姿勢が、日本の政治家や政府にまったく見られないことである。「タイタニック号の上で甲板の椅子を並び揃える」という英語表現があるが、すでに氷山に接触して日本丸に浸水が始まっているというのに、政府はただ歪んだ甲板の椅子を並べ直しているに過ぎない。

考えてみれば、時代、時代の難題を乗り越える、少なくとも突破口を開いてきたのは、地位のある偉そうな人ではなかった。名もない町の“変な人”が、突破口を開いてきたのである。

企業経営者も、あるいは会社員も、あるいは主婦も、学生も、自らの本来の務めに加えて、もうひとつ社会の課題解決に貢献する、いわば“二所懸命”の生き方を求められていると言えよう。



卓話の様子

＜出席報告＞

本 日 8月19日	会員数 59名	対象者 54名	出席者 41(38)名	出席率 70.37%			
前々回 7月29日	会員数 59名	対象者 54名	出席者 40(37)名	出席率 68.52%	MUP 4名	計 42名	修正率 77.78%

卓話者プロフィール

松岡紀雄様

1940年愛媛県松山市生まれ。京都大学法学部卒業後、松下電器産業（現パナソニック）入社。2年後に、松下幸之助会長の創設したP H P 研究所に出向、以後11年間にわたって松下幸之助氏の薫陶を受け、アメリカP H P 研究所の初代表や、国際P H P 研究所代表取締役兼英文P H P 編集長などを務める。1980年に経団連が創設した（財）経済広報センターに出向。海外広報の第一線での活動が「海外広報の伝道師」などと高く評価され、神奈川大学経営学部で創設に迎えられる。学部と大学院で、海外広報論や企業市民論、経営環境概論、起業学入門、社会福祉論などの科目を担当。

平塚市の高度情報化プラン策定委員会委員長や、市民活動促進条例検討委員会の委員長、平塚市や二宮町の総合計画審議会会長、平塚商工会議所の中心市街地活性化特別委員会委員などを歴任。松岡ゼミ生による、平塚中心商店街のホームページづくりや、地域通貨タナールの発行、土屋地区のホームページづくり、土屋小学校の児童を招いての21世紀型寺子屋の開催なども、新聞紙面で大きく取り上げられた。

現在も、神奈川県ボランティア活動推進基金21の審査会長、かながわ協働推進協議会座長、横須賀市市民協働審議会委員長、全国信用金庫協会監事、さわやか福祉財団評議員、日本フィランソロピー協会理事、政府の原子力防災小委員会の委員、共同通信社の政経懇話会講師などを務める。

著書には、『海外広報の時代』『企業市民の時代』『ボランティアを高く評価する社会』など。1986年に、企業広報功労者賞を受賞。

<幹事報告>

◎昨年度の米山寄付で、功労者となった方へ感謝状が届きました。

第1回米山功労者 鳥山優子会員

◎第47回平塚市少年野球大会の終了について（御礼）

この度標記大会は、小学生学童の部29チーム、小学生ジュニアの部24チーム、中学生の部16チームの参加により盛会のうちに無事終了することができました。ご理解、ご協力頂き有難うございました。

◎米山記念奨学会より秋季例祭のお知らせ

日時：9/18（土）14：00～

場所：米山梅吉記念館ホール

講演：田中 毅氏（尼崎西RC）＊詳細は受付まで。

◎米山奨学セミナー開催のご案内

日時：9/17（金）15：00～17：00

場所：藤沢産業センター8F

＊桐本会長・木島委員長（カウンセラー）が出席致します。

◎地区よりクラブ定款第4条「綱領」翻訳問題についてのアンケート調査ご協力をお願いが来ています。

◎研究グループ（G S E）チームリーダー（ガバナー代理）の募集

当地区では本年度、第4630地区（ブラジル・パラナ州）とG S Eチーム交換をすることとなりました。そこで団員4名と同行出来るG S Eチームリーダーを募集し

ます。自他問わずご推薦ください。

派遣期間：2011年4月14日～5月16日（17日日本着）

資格：ロータリアン（国際奉仕の知識のある方）、英語かポルトガル語が出来る、他。

応募方法：クラブを通し9/30までにガバナー事務所へ連絡

◎G S Eチームメンバー募集

派遣期間：2011年4月14日～5月16日（17日日本着）

派遣人数：4名

参加資格：2011年4月14日現在で25～40歳まで。

2年以上常勤または専門職に従事、帰国後も同じ地域、職場で仕事を続け研修を還元できること。

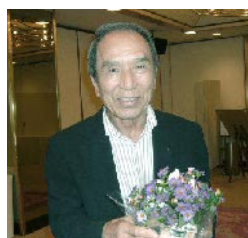
応募締切：10/30（土）ガバナー事務所

面接：11/13（土）

<委員会報告>

●スマイルボックス委員会 西村裕子副委員長

第2回スマイル大賞は、成瀬正夫会員です。



『今日は心からのスマイルをさせていただきます。猛暑の珍事でしょうか、この連夜はタイガースのおかげで熱い夜も気持ちよく過ごしています。』

* 阪神ファン魂に敬意を表して…

連勝で暑い夜も安眠出来るとのスマイルでしたがこのところ（8/5から）のまさかの連敗…。どうぞお気を落とすことなく、またのスマイルを。（8/14からまた連勝ですね。）

<メイクアップ>

5名 成瀬・工藤・滝口・櫻井・柳川会員

<ゲスト>

松岡紀雄様（卓話）

<ビジター>

杉本行廣様
（茅ヶ崎RC）



<本日のスマイル>

17名

<卓話・行事予定>

9月 2日（木）平塚市長 大蔵律子

9日（木）入会記念卓話 嶋津良治会員

16日（木）地区会員増強・維持委員会副委員長 秋森三男様（相模原西RC）

地区家族委員会委員長

河合賢治様（鎌倉大船RC）

23日（木）休会（定款による）

10月 7日（木）元短期大学教授・作家 櫻井誠子様

<市内例会変更>

平塚南	8/27	夜間家族例会
平塚湘南	9/12	移動（土屋橋周辺の清掃）